サポート情報記事

ポリシーの質問に対応し、従業員を免除する方法

2026 © Vitextra SIA. 無断転載を禁じます。

免責事項

本免責事項の適用上、次のとおり定義します。

- **会社** (本免責事項では「当社」と表記します) とは、Vitextra SIA (Matīsa iela 61-25, Rīga, LV-1009, Latvia) を指します。
- **本ドキュメント**とは、ナレッジベースの記事を指します。
- **お客様**とは、本ドキュメントにアクセスする個人、または該当する場合は、その個人が本ドキュメントにアクセスまたは使用する際に代理となっている会社その他の法人を指します。
- **本 Web サイト**とは、https://vitextra.com からアクセスできる Vitextra を指します。

免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、一般的な情報提供のみを目的としています。

当社は、本ドキュメントの内容における誤りや脱漏について、一切責任を負いません。

いかなる場合も、契約上の訴訟、過失、その他の不法行為上の訴訟であるかを問わず、本ドキュメントの内容の使用に起因または関連して生じる、特別損害、直接損害、間接損害、結果的損害、付随的損害、またはその他一切の損害について、当社は責任を負いません。当社は、事前の通知なく、いつでも本ドキュメントの内容に追加、削除、または変更を行う権利を留保します。

誤りおよび脱漏に関する免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、関心のある事項に関する一般的な指針を示すことのみを目的としています。そのため、本ドキュメントの内容を最新かつ正確に保つために当社があらゆる予防措置を講じている場合でも、誤りが生じる可能性があります。また、法律、規則、規制は変化するため、本ドキュメントに記載されている情報に遅れ、脱漏、または不正確な点が含まれる場合があります。

当社は、誤りや脱漏、またはこの情報の使用によって得られた結果について、責任を負いません。

フェアユースに関する免責事項

当社は、著作権者から明示的な許可を得ていない著作物を使用する場合があります。当社は、批評、論評、ニュース報道、教育、学術研究、または調査の目的で、そのような資料を提供しています。

当社は、これが、米国著作権法第 107 条に規定されている、当該著作物の「フェアユース」にあたると考えています。

お客様が、フェアユースの範囲を超えて、ご自身の目的で本ドキュメントの著作物を使用することを希望される場合は、著作権者から許可を得る必要があります。

「自己責任での使用」に関する免責事項

本ドキュメントのすべての情報は、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用によって得られる結果について何ら保証することなく、また、性能、商品性、特定目的への適合性に関する保証を含むがこれらに限定されない、明示または黙示を問わずいかなる種類の保証もなく、「現状のまま」提供されます。

当社は、本ドキュメントに記載されている情報に依拠して行われた判断や措置、または結果的損害、特別損害、もしくはこれらに類する損害について、たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも、お客様またはその他の者に対して責任を負いません。

お問い合わせ

本免責事項についてご不明な点がある場合は、メール (support@vitextra.com) でお問い合わせください。

目次

キューを確認する 4

ケースを解決する操作を選ぶ 4

次の手順を支える回答を書く 5

質問に回答する 5

割り当てを再開する 6

免除を記録する 6

Policy Managerには、ポリシーを確認できない従業員からの質問や報告が集まります。管理者、コンプライアンス管理者、または作成者のアカウントで開いてください。作成者は自身が所有するポリシーを扱います。免除の操作は管理者とコンプライアンス管理者が使用できます。

キューを確認する

確認が必要を開きます。キューには未対応の質問が、従業員、ポリシー、種類、メッセージ、作成日とともに表示されます。通常の質問と、確認できないという報告は異なるケースです。

通常の質問では、割り当ての状態は自動変更されません。確認できないと報告すると割り当てが**確認が必要**になり、解決まで従業員は通常の確認手順を完了できません。



判断が必要な質問とケース

ケースを解決する操作を選ぶ

従業員のメッセージを、ポリシーバージョンと割り当て状態とともに読みます。質問は従業員のタスクがアクティブなまま説明を求める場合があります。確認できないケースでは、割り当てが解決するまで通常の確認パネルがブロックされます。質問を閉じることと割り当てを変更することは、関連するものの別々の判断です。

状況	検討する適切な操作	検証する結果
従業員に説明が必要で、割り当てはアクティブ	質問に回答します。	回答が保存され、質問が未解決として表示されなくなります。

状況	検討する適切な操作	検証する結果
障害が解決し、従業員が確認すべき状態	回答を付けて対象割り当てを再開します。	タスクが再び割り当て済みになり、従業員が利用できます。
権限のある判断で、この従業員はこの割り当てを確認不要とされた	理由付きの免除を記録します。	免除状態と証跡イベントが存在します。
ポリシー内容自体が誤り、または古い	内容と公開の問題を別のポリシー変更として解決します。	目的のバージョンと残る割り当てが整合します。

たとえば、手順が自分の使わない設備に言及していると従業員が報告する場合があります。対象者が広すぎたのか、文言の説明が必要か、この特定の割り当てから免除すべきかを調べます。質問した全員を自動的に免除せず、ブロックされた割り当てを有効にすることが目的なら、質問への回答だけで終わらせないでください。

次の手順を支える回答を書く

決定内容、解決した問題、従業員が次にすることを説明します。再開する場合、個人ページを再読み込みし、割り当てを再度開くよう伝えます。元の期限は残るため、期限が過ぎていれば再開タスクは直ちに期限超過になる場合があります。操作で実行されない期限延長を約束しないでください。

回答は質問レコードに保存されます。現在の操作自体はメールを送らず、完全な従業員会話用受信トレイも提供しません。必要なフォローアップは組織の通常の連絡手順で行い、従業員が次の手順を理解したことを確認します。未解決一覧から行が消えただけでは、メッセージ配信は示せません。

免除では、一般的な「完了」ではなく判断を説明する理由を入力します。証跡が表すのは免除であり、従業員の確認ではありません。分母の減少を確認した従業員の増加と誤解しないよう、レポートや連絡でもこの区別を保ちます。

質問に回答する

1 該当行の**回答する**を選択します。

2 **回答**に回答を入力します。
3 **保存**を選択します。

質問は回答済みとなり、未対応の質問キューから除かれます。回答を保存するだけでは、レビュー待ちの割り当ては再開されません。この操作でメールが送られるとは想定しないでください。回答は質問レコードに保存されます。

割り当てを再開する

確認できないという報告について、**割り当てを再開する**を選択し、回答を入力して保存します。割り当ては割り当て済みの状態に戻り、そのコメントが消去され、質問は回答済みになります。

再開しても期限は延長されません。その日付が過ぎていれば、割り当ては期限超過として表示されます。従業員にMy Policiesを再読み込みし、割り当てを開き直すよう依頼します。

免除を記録する

1 確認できないというケースで**従業員がポリシーを読んだことを確認する義務を免除する**を選択します。
2 **免除の理由**を入力します。空でない理由が必要です。
3 保存し、結果の割り当てとイベントを検証します。

この操作は割り当てを免除にし、確認ログに免除イベントを追加し、監査記録を作成して質問を閉じます。従業員に代わって確認を作成する操作ではありません。

警告

現在の実装では、通常の確認にServiceモードを使用していても、免除イベントはSharePointに直接書き込まれます。ロールのマトリックスはコンプライアンス管理者グループに証跡リストへの読み取り権限を付与するため、アカウントに追加権限がなければ、この書き込みは失敗する場合があります。エラー時は再試行の前に割り当てとイベントを確認してください。更新は別々の操作であり、一部だけ完了している場合があります。エラーを回避するためだけに広範な書き込み権限を付与しないでください。